

予算審査特別委員会会議録（特急反訳）

討論・採決【速報版】

令和5年3月23日

◎ 討論、採決

○**澁谷委員長** これより各会計予算について順次討論・採決を行います。

まず初めに、議案第16号「令和5年度大阪府泉南市一般会計予算」について討論を行います。討論はありませんか。

○**大森委員** 反対の立場で討論させていただきます。

今回の予算では、どういう基準で見るとかということでは、やっぱり子育て支援の問題とか、それから子ども権利条例に沿ったまちづくりがどんなに進められているか、子どもたちの置かれている状況から、ああいう自死問題が起きましたけれども、そういう対応を含めてどういうことをしているかということが問われているというふうに思います。

それと、財政が少しずつ良くなっていく中で、どうやって住民サービスを立て直していったりとか、老朽施設なんかを改修していくかということが問われている予算だというふうに思います。

今回の予算を見まして、やっぱり評価できる点では、子ども医療費の助成制度が18歳までということで、これは昨年の9月議会の中で可決した中身ですけども、来年度から実施されると。それから、家庭児童相談室の相談員を増やしたりとか、相談窓口の強化など、まだまだこれだけで十分と言える状況じゃありませんけれども、そういうのを整えてもらっています。

それから、やっぱりコロナの下、値上げの下、やっぱり市民の暮らしは大変なので、そういう中で手数料・利用料を値上げしないということにされた判断もいいというふうに思っています。

それからあと、学校再編問題でいえば、いろいろ指摘する部分がありますけれども、とりあえず西信達校区に学校が残るというふうな判断がされたことは、これは本当に喜ばしいことだと思います。

一方、ほんなら何で反対するのかということの問題点ですけども、1つは、先ほども、何度も議論させていただきましたけれども、学校給食の分の値上げ、いろんな事情で値上げになるわけですが、物価の高騰とか燃料費の高騰とかあって、値

上げにならざるを得ない部分はあるんですけども、それを市民、保護者の負担にしてしまうと。やっぱり市が補助をして、保護者にとっては値上げにならない、そういうものを作ってほしいし、財政規模、財政にもいろんな問題があるけれども、それはもうできるだけ給食の無償化に向けて取り組んでもらいたいというふうに思います。そういう点が1つです。

それと、小中一貫校を進めていくということでは、予算も付いていますけれども、これも何で小中一貫校がいいのか、何で小中一貫校の中で義務教育学校にするのかという、根本的なところがやっぱり説明されていないと。

やっぱり市民の声を聞いて決めるとか、子どもたちの声を聞くんじゃなくて、やっぱり学校の数を減らすということを前提に案をつくって、これはどうですかというようなことで、市民に聞いているわけですけども、これ自体も聞き方も不十分ですし、こういうやり方というのはやっぱりよくない。

やっぱりどういう地域をつくりたいですか、どういう学校をつくりたいですかということを、子どもや地域に聞いて、それから計画を積み上げていくという、計画をつくっていくというのが、やっぱり正しいやり方ではないかなと。

そういう意味で言うたら、これも不十分がということで問題だというふうに思っています。

それから、公共施設の老朽化ですね。道路はいろいろな手を加えていただくようですけども、やっぱり学校、公民館、老人集会場などなど、こういう施設の老朽化、やっぱり対応が不十分であるという。

それから、26号線よりやっぱりJR山側への定住政策ですね。こういうものにも早くもっと力を入れていただきたいということで反対の理由とします。

それから、学力向上については、やっぱり少人数学級、それから教員増ということ、これに力を入れていただきたいというふうに思います。

これもちゃんとこれこそ検証をされている分なので、東小学校の経験もそうですし、コロナで分散の中で、子どもたちも先生も保護者も、身近に

先生がおって相談もできてよかったと、これが今ずっと泉佐野市や田尻町とか府下でも全国でも少人数学級が進んでいっている中身なので、これこそやっぱり検証されたものなので、財政で物事を考えなかったら、こういうのも実現できると思いますので、そういう点で反対したいというふうに思います。

以上で反対の理由とさせてもらいます。

○**澁谷委員長** ほかに討論はありませんか。

○**井上副委員長** 賛成の討論をさせていただきます。

今回の予算編成は、子育て世帯への投資が拡充され、これまで山本市長が議員時代から変えなければいけないと訴えていた点。いわゆる市民の皆様の声が反映された予算編成ではないかというふうに思います。

さらに、全体的な配慮も欠かすことなく、非常に堅実な予算編成だとも思いました。財政早期健全化宣言を解除し、大きな方向転換をしたことや、堅実に地に足の着いた改革は支持できることだと思います。

初めての当初予算ということで、様々な意見はあるかと思いますが、子育て世帯からまちに活力を生み出していく第一歩になるのではないかというふうにも思いました。

泉南市の雰囲気を変えていくためにも、今回の予算編成は必要なものだと思いますので、賛成とさせていただきます。

○**澁谷委員長** ほかにありませんか。——以上で本件に対する討論を終結いたします。

これより議案第16号を採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○**澁谷委員長** 起立多数であります。よって議案第16号は、原案のとおり可決されました。

続いて、議案第17号「令和5年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計予算」から議案第33号「令和5年度泉南市下水道事業会計予算」までの以上17件について一括して討論を行います。討論はありませんか。

○**大森委員** 国保は反対ですね。それだけにしておきます。

国保については、本当に国保料が高くなっていて、「国保が人を殺す」というようなNHKの昔ですわね、題名があつたぐらい国保料が払えなくて、保険証がなくて病院に行けない。国保料を払っておつても、もう苦しくて経済的に大変になって払えないと。

限度額が102万円、100万円を超えるという時代になって、所得の2割以上は国保料金やというのは、これはもうめちゃくちゃな事態だというふうに思いますので、そういう国保料の在り方は問題だと思います。

回収率もやっぱりちょっとずつ下がってきているというふうに、担当の方がおっしゃっていたけれども、払いたくても払えない金額になっている。これは、泉南市が今までいろんな努力をされていて、国保料は高いという中でも、泉南市は市民病院がないとか、1人当たりの医療費が低いとか、所得の低い層が多いというようなことで、低く抑えてきましたけれども、府下統一ということで、以下これ全部こんなふうに値上げになった。

府下統一というふうに言いますけれども、都道府県ではこれを遅らせているところもあるわけですよ。大阪府は特に前のめりになって、府下統一をやっている、こういう泉南市みたいな市民病院がないとか、そういうところは医療サービスも十分受けられない上に、国保料だけは高くなる。

何とか個別で均等割の2割減免をやっていたけれども、これも府下統一になったら、こういう独自の施策は駄目やということで、1割軽減になって、もうなしにしていかなあかんというようなことになっていますよ。

こういうちょっと国保については、到底賛成できないと。やっぱり国保料引下げというのが喫緊の課題で、今そういうことに市としても取り組んでもらいたいし、府にも言うていただきたいと、国にも言うていただきたいということで、反対の討論といたします。

○**澁谷委員長** ほかに討論はありませんか。——以上で本17件に対する討論を終結いたします。

これよりただいま討論のありました各会計予算

のうち、反対討論のありました議案から採決いたします。

まず初めに、議案第28号「令和5年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計予算」について採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○**澁谷委員長** 起立多数であります。よって議案第28号は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま採決いたしました1件の会計を除く16件に対しまして、議案第17号、議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号の以上16件の各会計予算について、これより一括して採決いたします。

お諮りいたします。本16件については、いずれも原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○**澁谷委員長** 御異議なしと認めます。よって本16件については、いずれも原案のとおり可決されました。

以上で本特別委員会に付託を受けました令和5年度泉南市各会計予算18件についての審査を終結いたします。

連日にわたり、慎重なる御審査をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、本会議における委員長の報告につきましては、私に一任をいただきますようお願いいたします。

これもちまして、令和5年度予算審査特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時46分 閉会

(了)

委員長署名

令和5年度予算審査特別委員会委員長

澁谷昌子